

研究会報告書(案)に対する主要意見

項目	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンクモバイル	イー・モバイル	ウイルコム	情報通信ネットワーク産業協会	携帯電話販売事業者有志	テレコムサービス協会 MVNO 協議会
①分離プランの導入	・方法論として幅広く認められるべきであり、激変緩和措置も視野に入れて慎重に見極めるべき	・販売奨励金モデルの改善を図る等により、多様な選択肢を用意することが重要	・個々の事業者が自主的な取組を行うことを基本とすべき ・行政指導等による統一的な制約は柔軟なサービスを制限	・賛成	・割賦方式を導入済み	・拙速な導入は避けるべき ・諸条件整備のため、2010年を目途に検討を進めるべき	・我が国の経済、景気に与える悪影響の把握と対策が必要 ・利用者保護に十分に留意すべき	—
②会計制度の見直し	・会計の継続性の観点から、事業収支の注記で対応可能 ・接続料からの控除は妥当であり、2010年に見直されるべき	・販売奨励金はすべて通信契約の締結、維持等のための手段 ・事業収支への別勘定科目への費用計上でも目的は達せられる	・会計の透明性向上を図るとする基本的考え方に賛同 ・事業者間の公平性担保のため詳細なルール化が必要	・会計上の明確化は適切 ・端末開発費用等も明確化が必須	—	—	—	・研究開発費等も会計上の整理が必要
③SIM ロック	・3.9G の無線方式の選択状況等を見極めることが必要	・利用期間付契約の導入等により解除は可能	・時期や方法等同一の条件で実施することが前提	・全事業者に同期をとった実施が必要で、法制化が適切	—	・現状解除してもユーザの利益向上に直結しない	・利用者の負担が増加 ・現状では効果は限定的	・端末を変えた場合でも、最低限保証される機能の確保が必要
④卸標準プランの策定・公表	・事例が積み重なった段階で検討	・事例を積み重ねていく中で検討	・ルール化は、二種指定設備を保有する事業者に限定すべき	・オープン化の義務付けを要望	・賛同	—	—	・交渉難航事例が多々あり、標準プランは必須
⑤プラットフォームの連携強化	・競争力の源泉であり競争に任せるべき ・APIの一律オープン化は不適當	・付加価値が創出される場合はユーザ利便向上に有効 ・MVNO等も自ら事業リスクをとることが不可欠	・支配的事業者以外への過度な規制は不適切	・当該機能の分離の検討も必要	・市場の活性化に加え、健全な競争環境の整備に繋がる	—	—	・新規性並びに国際競争力のあるサービス創出に重要

(注) 各事業者・団体の意見等は、事務局において趣旨を損なわない範囲で要約。